



# 平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年8月11日

上場会社名 株式会社カプコン

(コード番号：9697 東証・大証第1部)

(URL <http://www.capcom.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 辻本 憲三

問合せ先責任者 役職名 取締役専務執行役員 小田 民雄

TEL (06)6920-3605

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

- (内容) ・ 法人税等の計算等について、法定実効税率をベースとした簡便な方法を採用しております。  
 ・ 引当金の計上基準等について、簡便な方法を採用しております。  
 ・ その他、影響額の僅少なものにつき、一部簡便な手続きを採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

当連結会計年度より固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損に係る会計基準設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))および「固定資産の減損に係る会計基準適用指針」(企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日)を適用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年6月30日)

### (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	11,431	4.1	891	24.1	1,073	16.3	608	19.5
17年3月期第1四半期	11,921	77.9	718	-	922	-	509	-
(参考) 17年3月期	65,895		7,752		7,399		3,622	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	11.07	8.26
17年3月期第1四半期	8.96	7.73
(参考) 17年3月期	63.37	50.28

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

### [経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、原油高や輸出の伸び悩みはありましたものの、個人消費や雇用環境の改善に加え、設備投資の増大や在庫調整の進展などにより、景気は踊り場から脱却の兆しが見え始めてまいりました。

当業界におきましては、家庭用ゲーム市場は据え置き型次世代機の登場を控え端境期に差し掛かってまいりました。このような環境のもと、ハードは新型携帯ゲーム機の普及拡大もあって、堅調に推移いたしましたものの、ゲームソフトにつきましては、けん引ソフトの不足などにより総じて軟調に終始いたしました。

また、アミューズメント施設市場や業務用ゲーム市場は、まだら模様ながらおおむね堅調に展開いたしました。

一方、業界の勢力地図が急速に塗り替わる状況下、生き残りをかけて経営統合や資本提携など業界再編に向けた動きが加速してまいりました。

こうした情勢のもと、当社グループは組織改革によるマネジメント体制やマーケティング戦略の強化に加え、趣向を凝らした販促展開、各種イベントを推し進めるとともに、携帯電話向けゲーム配信やパチスロ機向け液晶表示基板の供給などコンテンツビジネスの拡充に注力してまいりました。加えて、グループ全体の収益力を高めるため、重点戦略である海外事業展開の再構築を進めてまいりました。

なお、今年の6月に神奈川県が当社販売の家庭用ゲームソフト「グランド・セフト・オート」(プレイステーション2用)を有害図書類に指定し、18歳未満への販売を禁止いたしました。現段階では本件による影響は軽微であります。行政機関によるこのたびの規制は、まことに遺憾であります。

本件は、ソフト開発を基軸に事業展開している当社にとって経営の根幹にも係ることでもありますので、諸般の事情を勘案しつつ、法的対応も視野に入れながら、冷静かつ毅然たる姿勢で対応していく所存であります。

この結果、当第1四半期の連結業績は、売上高114億31百万円(前年同期比4.1%減)、営業利益8億91百万円(前年同期比24.1%増)、経常利益10億73百万円(前年同期比16.3%増)、四半期純利益6億8百万円(前年同期比19.5%増)となりました。

## 事業の種類別セグメントの状況

事業の種類別セグメントは、従来、「コンシューマ用機器販売事業」「アミューズメント施設運営事業」「業務用機器販売事業」「その他事業」の4分類に区分しておりましたが、当連結会計年度より、「コンシューマ用機器販売事業」「アミューズメント施設運営事業」「業務用機器販売事業」「コンテンツエキスパンション事業」「その他事業」の5分類に区分しております。

これは、従来「その他事業」に含めて表示しておりました、携帯電話向けコンテンツの開発・配信および液晶表示基板等の開発・製造・販売を行う「コンテンツエキスパンション事業」について、当該事業の重要性が増したため当第1四半期より区分掲記することとしたものであります。

以下に記載しております、売上高等のセグメント情報の前年同期との比較に関する事項は、前年同期の数値を上記の変更後のセグメントに組替えた金額との比較によっております。

### コンシューマ用機器販売事業

当事業におきましては、本格的な夏商戦を前に「ロックマン ゼロ4」(ゲームボーイアドバンス用)や「喧嘩番長」(プレイステーション2用)が堅調に推移いたしました。また、海外ではプレイステーション2向け「バイオハザード アウトブレイク F I L E 2」や廉価版タイトルが順調に伸びました。しかしながら、当第1四半期の商品ラインナップは目玉商品の不在に加え、小粒なタイトルが大半を占めたこともあって全体として弱含みに展開いたしました。

この結果、売上高は52億12百万円(前年同期比34.4%減)、営業利益45百万円(前年同期比92.7%減)となりました。

### アミューズメント施設運営事業

当事業におきましては、各種イベントの開催や店舗のリニューアルによる快適な店舗運営など、ユーザー志向に立ったロケーション展開により、新規顧客の取り込みやリピーターの確保に努めてまいりました。

当第1四半期は、福岡県のショッピングセンター内にニューヨークの街をイメージした「プラサカブコン直方店」を出店するとともに、1店舗を閉鎖いたしました。

これにより、当施設は30店舗となっております。

この結果、売上高は25億26百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益3億84百万円(前年同期比30.9%減)となりました。

### 業務用機器販売事業

当事業におきましては、新商品の発売はありませんでしたが、既存商品の「スーパーマリオ 不思議のこころパーティー」や「エイリアン」が続伸するなど、販売拡大に貢献いたしました。

この結果、売上高は13億76百万円(前年同期比115.8%増)、営業利益1億5百万円(前年同期は65百万円の営業損失)となりました。

### コンテンツエキスパンション事業

当事業におきましては、前期に好調な売上を示しましたパチスロ機向け液晶表示基板の「鬼武者3」が余勢を駆って引き続き販売を伸ばし、売上拡大のけん引役を果たしました。この結果、売上高は18億43百万円(前年同期比830.4%増)、営業利益7億69百万円(前年同期比736.3%増)となりました。

### その他事業

その他事業につきましては、主なものはライセンス許諾などのロイヤリティ収入で、売上高は4億83百万円(前年同期比22.2%減)、営業利益2億1百万円(前年同期比46.1%増)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	102,842	32,872	32.0	598.03
17年3月期第1四半期	91,277	31,466	34.5	557.19
(参考) 17年3月期	106,361	32,491	30.5	589.99

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金および現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	1,352	452	1,006	45,755
17年3月期第1四半期	908	205	1,560	31,534
(参考) 17年3月期	7,977	1,099	6,251	45,538

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における総資産は1,028億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億19百万円減少しました。また、株主資本は328億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億81百万円増加しました。これらの主な要因は、配当金の支払や借入金の返済ならびに四半期純利益の計上などによるものであります。この結果、株主資本比率は32.0%となりました。

当第1四半期末における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の減少によるキャッシュの増加を中心として、営業活動によるキャッシュ・フローは13億52百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出等により、投資活動によるキャッシュ・フローは4億52百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払を行ったこと等により、財務活動によるキャッシュ・フローは10億6百万円の減少となりました。

以上の結果、当第1四半期末における現金および現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億17百万円増加し、457億55百万円となりました。

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

平成18年3月期の業績予想につきましては、おおむね予想どおりに推移しているため、平成17年5月23日決算発表時の業績予想を変更しておりません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成17年3月31日)		当第1四半期 (平成17年6月30日)		増 減 額 (前連結会計年度比)	前第1四半期 (平成16年6月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
(資産の部)		%		%			%
流動資産							
1 現金および預金	43,538		44,756		1,217	31,534	
2 受取手形および売掛金	14,417		8,777		5,639	6,510	
3 有価証券	1,999		999		999	-	
4 たな卸資産	3,912		3,816		96	4,145	
5 ゲームソフト仕掛品	9,399		10,252		852	10,602	
6 繰延税金資産	4,004		4,081		77	5,048	
7 短期貸付金	1,285		1,282		2	1,556	
8 その他	1,455		2,442		987	2,713	
9 貸倒引当金	1,128		1,137		8	762	
流動資産合計	78,884	74.2	75,273	73.2	3,611	61,348	67.2
固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物および構築物	6,677		6,594		83	6,886	
(2) 機械装置および運搬具	84		86		2	104	
(3) 工具器具備品	588		581		7	610	
(4) レンタル機器	107		103		4	128	
(5) アミューズメント施設機器	1,878		2,138		260	2,213	
(6) 土地	4,472		4,474		2	4,473	
(7) 建設仮勘定	72		-		72	135	
有形固定資産合計	13,881	13.0	13,978	13.6	97	14,552	16.0
2 無形固定資産							
(1) その他	636		599		36	852	
無形固定資産合計	636	0.6	599	0.6	36	852	0.9
3 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券	1,562		1,699		136	2,084	
(2) 長期貸付金	865		857		8	3,629	
(3) 繰延税金資産	6,029		5,991		38	7,960	
(4) 破産債権更生債権等	108		108		-	118	
(5) その他	4,804		4,746		58	4,838	
(6) 貸倒引当金	410		411		0	4,108	
投資その他の資産合計	12,959	12.2	12,990	12.6	30	14,523	15.9
固定資産合計	27,476	25.8	27,569	26.8	92	29,928	32.8
資産合計	106,361	100.0	102,842	100.0	3,519	91,277	100.0

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成17年3月31日)		当第1四半期 (平成17年6月30日)		増 減 額 (前連結会計年度比)	前第1四半期 (平成16年6月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
(負債の部)		%		%			%
流動負債							
1 支払手形および買掛金	8,472		5,788		2,684	3,908	
2 短期借入金	4,893		4,542		350	5,944	
3 1年以内償還予定の 転換社債	12,262		12,262		-	-	
4 未払法人税等	559		179		379	160	
5 賞与引当金	1,137		433		703	393	
6 返品調整引当金	210		170		40	354	
7 その他	3,809		4,149		340	5,020	
流動負債合計	31,344	29.5	27,526	26.7	3,817	15,781	17.3
固定負債							
1 転換社債	25,000		25,000		-	37,262	
2 新株予約権付社債	11,500		11,500		-	-	
3 長期借入金	4,830		4,725		105	5,425	
4 退職給付引当金	740		756		15	870	
5 その他	454		461		6	472	
固定負債合計	42,525	40.0	42,442	41.3	82	44,029	48.2
負債合計	73,869	69.5	69,969	68.0	3,900	59,811	65.5
(資本の部)							
資本金	27,581	25.9	27,581	26.8	-	27,581	30.2
資本剰余金	15,336	14.4	15,336	14.9	0	15,337	16.8
利益剰余金	4,681	4.4	4,683	4.5	1	7,233	7.9
その他有価証券評価差額金	470	0.4	564	0.5	93	482	0.5
為替換算調整勘定	1,103	1.0	813	0.8	289	1,066	1.1
自己株式	5,111	4.8	5,112	4.9	0	3,634	4.0
資本合計	32,491	30.5	32,872	32.0	381	31,466	34.5
負債、少数株主持分 および資本合計	106,361	100.0	102,842	100.0	3,519	91,277	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第1四半期		当第1四半期		増減額 (前第1 四半期 比)	前連結会計年度		
			自平成16年4月1日 至平成16年6月30日		自平成17年4月1日 至平成17年6月30日			自平成16年4月1日 至平成17年3月31日		
			金額		金額			金額		
				%		%			%	
売上高		11,921	100.0		11,431	100.0	489	65,895	100.0	
売上原価		8,016	67.3		7,688	67.3	328	43,640	66.2	
売上総利益		3,904	32.7		3,743	32.7	161	22,255	33.8	
返品調整引当金戻入額		345	2.9		40	0.4	305	489	0.7	
差引売上総利益		4,250	35.6		3,783	33.1	466	22,744	34.5	
販売費および一般管理費		3,531	29.6		2,891	25.3	639	14,991	22.8	
営業利益		718	6.0		891	7.8	173	7,752	11.7	
営業外収益										
1 受取利息	32				109			216		
2 受取配当金	10				13			13		
3 為替差益	218				102			340		
4 その他	53	315	2.6		21	247	2.2	149	719	1.1
営業外費用										
1 支払利息	68				62			265		
2 貸倒引当金繰入額	-				-			625		
3 その他	42	111	0.9		3	65	0.6	181	1,073	1.6
経常利益		922	7.7		1,073	9.4	150	7,399	11.2	
特別利益										
1 事業譲渡益	-				-			66		
2 投資有価証券売却益	67	67	0.6		-	-	-	-	66	0.1
特別損失										
1 固定資産除売却損	27				10			121		
2 投資有価証券評価損	-				-			314		
3 投資有価証券売却損	-	27	0.2		-	10	0.1	22	459	0.7
税金等調整前四半期(当期)純利益		963	8.1		1,062	9.3	99	7,006	10.6	
法人税、住民税および事業税		454	3.8		454	4.0	0	3,383	5.1	
四半期(当期)純利益		509	4.3		608	5.3	99	3,622	5.5	

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期	当第1四半期	増減額 (前第1 四半期 比)	前連結会計年度
		自平成16年4月1日 至平成16年6月30日 金額	自平成17年4月1日 至平成17年6月30日 金額		自平成16年4月1日 至平成17年3月31日 金額
営業活動によるキャッシュ・フロー					
1	税金等調整前四半期(当期)純利益	963	1,062	99	7,006
2	減価償却費	478	442	36	2,101
3	貸倒引当金の増減額(減少)	397	6	404	544
4	受取利息および受取配当金	42	122	80	229
5	支払利息	68	62	6	265
6	投資有価証券売却益	67	-	67	-
7	売上債権の増減額(増加)	2,429	5,556	3,127	5,400
8	たな卸資産の減少額	225	103	121	454
9	ゲームソフト仕掛品の増減額(増加)	961	852	108	240
10	仕入債務の増減額(減少)	614	2,671	2,056	3,929
11	その他	944	1,757	813	623
	小計	1,137	1,829	692	8,289
12	利息および配当金の受取額	47	127	80	238
13	利息の支払額	30	26	4	265
14	法人税等の支払額	245	578	332	285
営業活動によるキャッシュ・フロー					
		908	1,352	444	7,977
投資活動によるキャッシュ・フロー					
1	有形固定資産の取得による支出	322	431	108	1,320
2	投資有価証券の売却による収入	107	-	107	218
3	その他	9	21	31	2
投資活動によるキャッシュ・フロー					
		205	452	247	1,099
財務活動によるキャッシュ・フロー					
1	短期借入金の返済による支出	350	350	-	1,402
2	長期借入金の返済による支出	105	105	-	700
3	新株予約権付社債の発行による収入	-	-	-	11,500
4	自己株式の売却による収入	0	0	0	0
5	自己株式の取得による支出	535	0	534	2,013
6	親会社による配当金の支払額	569	550	19	1,133
財務活動によるキャッシュ・フロー					
		1,560	1,006	553	6,251
現金および現金同等物に係る換算差額					
		260	324	63	277
現金および現金同等物の増減額(減少)					
		597	217	814	13,406
現金および現金同等物の期首残高					
		32,131	45,538	13,406	32,131
現金および現金同等物の期末残高					
		31,534	45,755	14,221	45,538

#### 4. セグメント情報

##### [事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期(自平成17年4月1日至平成17年6月30日)

(単位:百万円)

	コンシューマ 用機器 販売事業	アミューズ メント施設 運営事業	業務用機器 販売事業	コンテンツ エキスパ ンション 事業	その他事業	計	消去 または全社	連結
売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,212	2,526	1,366	1,843	483	11,431	(-)	11,431
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	-	-	10	-	-	10	(10)	-
計	5,212	2,526	1,376	1,843	483	11,441	(10)	11,431
営業費用	5,166	2,141	1,270	1,074	282	9,935	604	10,540
営業利益	45	384	105	769	201	1,506	(614)	891

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品および事業内容

(1) コンシューマ用機器販売事業.....家庭用ゲームソフトの開発・販売事業

(2) アミューズメント施設運営事業.....アミューズメント施設の運営事業

(3) 業務用機器販売事業.....業務用ゲーム機器、IC基板等の開発・製造・販売事業

(4) コンテンツエキスパンション事業...携帯電話向けコンテンツの開発・配信および  
液晶表示基板等の開発・製造・販売事業

(5) その他事業.....ライセンス事業、その他

3 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は616百万円であり、その主なものは、管理部門に係る費用であります。

4 事業区分の変更

従来、「その他事業」に含めて表示しておりました、携帯電話向けコンテンツの開発・配信および液晶表示基板等の開発・製造・販売の事業を行う「コンテンツエキスパンション事業」は、当該事業の重要性が増したため当第1四半期より区分掲記することといたしました。

なお、前第1四半期および前連結会計年度において、当第1四半期の事業区分によった場合の事業の種類別セグメント情報は、次のとおりであります。

前第1四半期(自平成16年4月1日至平成16年6月30日)

(単位:百万円)

	コンシューマ 用機器 販売事業	アミューズ メント施設 運営事業	業務用機器 販売事業	コンテンツ エキスパ ンション 事業	その他事業	計	消去 または全社	連結
売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,940	2,532	628	198	621	11,921	(-)	11,921
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	-	-	9	-	-	9	(9)	-
計	7,940	2,532	637	198	621	11,930	(9)	11,921
営業費用	7,326	1,975	702	106	483	10,594	608	11,202
営業利益または営業損失( )	614	556	65	92	137	1,336	(617)	718

(注) 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は627百万円であり、その主なものは、管理部門に係る費用であります。

前連結会計年度(自平成16年4月1日至平成17年3月31日)

(単位:百万円)

	コンシューマ 用機器 販売事業	アミューズ メント施設 運営事業	業務用機器 販売事業	コンテンツ エキスパ ンション 事業	その他事業	計	消去 または全社	連結
売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	39,985	10,934	7,411	4,207	3,356	65,895	(-)	65,895
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	-	-	38	-	-	38	(38)	-
計	39,985	10,934	7,450	4,207	3,356	65,933	(38)	65,895
営業費用	36,077	8,638	5,505	2,464	3,121	55,807	2,336	58,143
営業利益	3,907	2,296	1,944	1,742	235	10,126	(2,374)	7,752

(注) 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は2,401百万円であり、その主なものは、管理部門に係る費用であります。